

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 237

2014年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 日に日に暖かさが感じられる季節
です。冬鳥もそろそろ見納めとなっ
てきます。
手賀沼のほとりで早春の薫りと共
に、カモ類、猛禽類、小鳥達の生き
生きした姿を楽しみましょう。
解 散 正午
担 当 船津

4月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ類や冬鳥が去り、夏鳥までの端
境期ですが渡りの鳥の季節でもあ
ります。夏鳥には少し早いですが、
渡りのシギチに出会えるかも知れ
ません。手賀沼にはコガモもまだ残
っているかも。暖かくなった春風の中
で手賀沼遊歩道を散策し、冬の名
残の鳥たちを見送りつつ、渡りの出
会いにも期待しましょう。
解 散 正午
担 当 桑森

3月、4月ピオトープ調査

期 日 3月6日(木) 雨天延期
4月3日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 3～4月も1～2月に引き続き冬鳥
が非常に多く見られる季節です。
昨年は野鳥を3月33種、4月22
種観察出来ました。アリスイ、クイ
ナ、シメ、コチョウゲンボウが現れ
たこともあります。この季節、3月
より木の芽が出始め4月には花が
咲き始めます。草の花は3月より
咲き始め4月には色々な種類の花
が咲きます。その頃には蝶も蜜を求
めて飛び、蛙も見られるようになり
ます。3～4月は野鳥・蝶の他に足
元の野草の花、木の花芽、花等を見
ながら春の探鳥をしましょう。
参加希望の方は下記までご連絡下
さい。
解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治

秋ヶ瀬公園探鳥会

期 日 4月27日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時

案内 秋ヶ瀬公園は、さいたま市の西部荒川河川敷に広がった多彩な自然が残された広大な公園です。初夏には渡り途中の夏鳥が多く立ち寄り事でも有名な探鳥スポットです。毎年のように、サンショウクイ、クロツグミ、オオルリ、キビタキ、メボソムシクイ、エゾムシクイなどが見られていますし、サンコウチョウやヤブサメなども運が良ければ、期待出来る探鳥地です。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡下さい。

持物 観察用具、雨具、昼食(現地及び途中購入は難しい)

申込 金子雅幸まで

担当 桑森、金子

筑波山探鳥会

期日 5月3日(土・祭日) 雨天中止

集合 我孫子駅北口 午前7時

案内 毎年、恒例と言っていいほどの行事です。筑波山は低いながら百名山の一つで、生き物も垂直分布に合わせ、多様性に富んでおり夏鳥もかなり観察されます。キビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、コルリ、ツツドリ、コマドリなど観察されます。春の野草も多く見られます。どんな野草か、実際に見てください。筑波山の裏側から登ります。登りはほんの少しきついで！今では筑波山は有名山です。混雑も予想されますが、ゆったりと探鳥を楽しみましょう。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能

な方はその旨連絡ください。

持物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)

申込 染谷迪夫まで

担当 鈴木、染谷

3月役員会案内

日時	3月9日(日) 13:30~16:30
場所	水の館3階研修室
議題	4月の定期総会資料について ・H26年度定期総会次第 ・H25年度事業報告・決算報告(案) ・H26年度事業計画・予算(案) 会報238号掲載予定記事について 新しい事業について メーリングリストの変更について 第六回「野鳥サロン」について 報告事項 ・関係団体関連報告 その他(議題のある場合は野口隆也までご連絡ください。)

第五回「野鳥サロン」のご案内

第五回野鳥サロンを次の様に開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 3月30日(日) 9:30~12:00

会場 我孫子北近隣センター 並木本館調理室
(我孫子駅北口から徒歩7分)

テーマ トケン類の托卵について
山階鳥類研究所と野鳥を守る会との関わりについて

会費 一人300円(茶菓代ほか)

担当 染谷迪夫、田中功、田中恒雄、野口紀子、弘實さと子

申込 野口紀子まで

平成 26 年度定期総会

日時 4月13日(日) 13:30~15:30
場所 水の館 3階研修室
議題 平成25年度事業報告及び決算
平成26年度事業計画及び予算
その他

25年度の事業結果及び決算を総括し、
26年度の事業計画及び予算を決める
大事な会員総会です。
会員の皆様の多数のご出席をお待ちし
ております。

行事報告

12月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.12.8 9:15~12:00

晴れ 微風 10

いよいよ冬本番！水鳥で賑わう手賀沼が
やって来た。期待が高まる。
時間配分を、下見(12/3)時の鳥影を考
慮し、上沼を控えめにし、下沼を主にしたが、
なんと、最初の北千葉導水ビジターセンター
でノスリの勇姿が幸運の兆候となり、予想外
の展開になりました。快晴の青い空にはミサ
ゴの飛翔、いつもの鉄塔にはハヤブサ、車列
移動中にはチョウゲンボウ、締めくくりには
トビの周回、と猛禽類に恵まれた。

水鳥では、上沼でのオカヨシガモ、カンム
リカイツブリは上、下両方で散見、下沼では、
ハジロカイツブリ、ミコアイサも湖畔近くで
姿を見せてくれた。今季初見の方が感激され
ていた。コガモの群れは湖面だけでなく隊列
飛行でサービス満点。期待外れだったのは、
マガモが皆無だったこと。対岸の植生帯をス
コープで探したが見つけられなかった。

湖畔の叢では、オオジュリンが鳴きながら
出入りする、あちこちでモズの高鳴き、まさ
に冬到来だ。ツグミは次回に残しておこう。
<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、
カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コ
サギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、
コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ミコア
イサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサ、チ
ョウゲンボウ、オオバン、ユリカモメ、セグ

ロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、
セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、
モズ、ジョウビタキ、ホオジロ、オオジュリ
ン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボ
ソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス
計37種 番外カワラバト

<探鳥班> 谷山晴男、野口隆也、小林寿美子、
川村美智子、川村美恵子、相良直己、田中恒
雄、藤川敏彦、間野吉幸、船津登、松村寿夫、
北崎正典、六角昭男、松本葉子、関口小夜子、
古出洋子、小坂忠久、鈴木静治、類似佑子、
桑森亮、瀧本泰博、天野睦子、小林博之、小
林美智子、大久保陸夫、武藤康之、石渡成紀、
金子幸子、田丸喜昭、渡辺俊文、小澤淳宏、
百瀬喬、野口紀子(担当) 松本勝英

計34名

<カウント班> 染谷迪夫、木村稔、小玉文夫、
田中功

調査日時 2013.12.8 9:20~11:55

晴 北西微風 11

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	7	6	13
ハジロカイツブリ	3	0	3
カンムリカイツブリ	24	23	47
カワウ	16	46	62
ダイサギ	2	4	6
コサギ	1	1	2
アオサギ	6	6	12
コブハクチョウ	5	4	9
コハクチョウ	0	4	4
カルガモ	18	9	27

コガモ	98	7	105
オオシロガモ	11	0	11
ヒドリカガモ	10	3	13
オカガモ	0	3	3
キンクワシロ	0	1	1
ミコアイサ	0	5	5
オハシ	4	18	22
ユリカモメ	7	4	11
セグロカモメ	2	2	4
合計	214	146	360

<ピオトープ班>鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子、船津登

調査日時 2013.12.5 9:30~11:20

快晴 無~弱風 13~18

ピオトープは蔓性植物、抽水植物に覆われ、茂みでアオジ、ウグイスの地鳴き。斜面林は赤、黄、緑、茶が混じり、陽に映え綺麗。上空をトビ、ハイタカが飛ぶ。沼面は波無いが水鳥少ない。観察した野鳥 17 種。蝶、蜻蛉、バッタ、カナヘビ、モグラの盛り土各 1 種観察できました。また、木の実 4、野草の花 1、野草の花穂、実 4 種を見ることが出来ました。

<認めた鳥>カウウ、カルガモ、コガモ、バン、セグロカモメ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、カシラダカ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 17 種

1月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.1.12 9:00~12:00

晴 微風 気温 9

この冬一番という寒気のおかげ、前半は鳥影が薄かったが、後半には、ノスリが電柱にとまっていたり、オナガガモの群れにホシハジロが混じっていたり、最終的には 40 種とまずまずの鳥果でした。

<認めた鳥>カイツブリ、カンムリカイツブリ、カウウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、ノスリ、ハヤブサ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、

カワセミ、アリスイ、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 40 種

<探鳥班>村松寿夫、金子幸子、川越久枝、野口隆也、間野吉幸、武藤康之、田丸喜昭、船津登、松田幸保、西嶋昭生、常盤孝義、榎本右、小坂忠久、千葉洋、肥後邦彦、小林博之、小林美智子、谷山晴男、藤川敏彦、小澤淳宏、佐々木隆、北崎正典、六角昭男、相良直己、渡辺政一、天野正臣、天野睦子、古出洋子、田中恒雄、類地佑子、百瀬喬、松本葉子、松本勝英、小玉文夫、渡辺俊文、佐藤弘美(担当)小林寿美子、野口紀子 計 38 名

<カウント班>木村稔、染谷迪夫、田中功

調査日時 2014.1.12 9:20~11:55

晴 無風 5

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	9	2	11
ハシロカイツブリ	1	1	2
カンムリカイツブリ	28	25	53
カウ	11	57	68
ダイサギ	2	3	5
コサギ	0	2	2
アオサギ	0	6	6
コブハクチョウ	16	10	26
コハクチョウ	0	4	4
マガモ	0	86	86
カルガモ	43	13	56
コガモ	34	20	54
ヒドリカガモ	10	3	13
オカガモ	0	92	92
キンクワシロ	0	1	1
ミコアイサ	2	7	9
ハシ	1	1	2
オハシ	29	47	76
イソギ	1	0	1
ユリカモメ	8	5	13
セグロカモメ	1	1	2
合計	196	385	581

<ピオトープ班>鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子

調査日時 2014.1.9 9:30~11:20

曇り後晴れ 無~微風 9~11

雨上がりビオトープの柳の枝先につく水滴がキラキラして綺麗。ビオトープは全般に立ち枯れた葦、枯れた蔓性植物の茂みで覆われる。この中でアオジ、オオジュリン、ホオジロが動き回る。田の畔で採食中のノスリを4羽のハシボソガラスが取り囲む情景も見られた。水面の静かな沼の向こう側に柏市のビル群が見渡せるが、水鳥は少ない。観察した野鳥は20種。また、モグラの盛土、木の花1、冬芽2、花穂1、枯れた草の実、花穂6種を見ることが出来ました。

<認めた鳥>カウウ、カルガモ、コガモ、ノスリ、バン、オオバン、ユリカモメ、キジバト、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計20種

涸沼探鳥会

12月23日

ハジロカイツブリの多さにビックリ

清水直樹

埼玉の清水です。当日は午前8時に我孫子駅の北口に集合だったため自宅を5時半に出発して長女(小4)と長男(小1)の子供2人と3人で初めて参加をしました。集合場所に到着して、入会を済ませ皆さんにごあいさつをしました。

当日は、天候も良く晴れでした。

今回のコースは涸沼のポイント3か所と、霞ヶ浦のポイント1か所を見るコースです。

初めのポイントの弁天鼻網掛(あがけ)公園に到着です。公園の土手を登ると初めに迎えてくれたのは、オオバンの群れでした。ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、スズガモ、ミサゴ、芝生の上にはピンズイがいました。帰る頃には、駐車場脇の田んぼにはカワセミが止まっていた。皆さんの話だと去年は風が強く寒かったようで今回は風もなく、幸先の良い出だしでした。

次に、向かったのはいこいの村涸沼園です。ここでは、遙か遠くにミサゴが止まっています。その後、私の上空にもミサゴが旋回して間近で見ることが出来とてもラッキー

でした。子供たちも初めて見るミサゴに感動していました。

他には、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイスの声、カルガモなどが見られました。

お昼になり子供たちの待ちに待った昼食を園内で摂りました。

3つ目のポイントは、元特養ホーム涸沼苑跡付近の堤防です。ここは、多くの水鳥がおり埼玉ではあまり見られない光景でビックリしました。

ここでも、ミサゴが遠くに止まっていますが、距離が遠く肉眼で確認するのが難しくプロミナーで覗いてやっとの距離でした。

田んぼの電柱にはノスリが止まっており、手前の原っぱには、カシラダカがいました。

ハジロカイツブリを間近で見ることが出来ハジロカイツブリの多さにもビックリしました。埼玉では1羽現れるだけで話題になるため考えられない光景です。

その後、涸沼産のシジミを購入して最後のポイントの霞ヶ浦に向かいました。

常磐線の高浜駅から霞ヶ浦方面の農道を進むと霞ヶ浦の堤防に出ます。農道の電柱にはハヤブサがお出迎えしてくれました。

ハヤブサの止まった電柱の近くにチョウゲンボウが現れにらみあい。とても面白い光景でした。

ヨシガモ、コブハクチョウなどを見ることが出来ました。

今回の探鳥会に参加をしてミサゴ、ヨシガモ、ハヤブサを初めて見ることが出来、とても充実した探鳥会でした。

最後に、皆さんに大変お世話になり有難うございました。今後も探鳥会に参加をしたいと思えます。

【幹事報告】

天気は、晴れ時々曇りで、風もなく穏やかな日でした。

涸沼では、網掛公園、いこいの村涸沼、元特養ホーム跡付近と3か所で、探鳥をしました。鳥たちは、スズガモの大群、カルガモの群、カンムリカイツブリの群等が見られましたが、残念ながらホオジロガモは、見られませんでした。涸沼特産のシジミを購入し、霞ヶ浦へ向かいました。(24日夜、シジミを食べました。大粒でとても美味し

かったです。)

霞ヶ浦では、マガモの群の中にヨシガモが確認されました。また、猛禽類が7種も見られ、皆を楽しませてくれました。

清水さんのお子さん2人の参加で、いつもの探鳥会より明るい会となりました。

最後に、谷田部東PAで鳥合わせをし、本年最後の探鳥会とのことで、田丸さんの発声により、三本締めで締めました。

<認めた鳥>カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウガラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計53種

<参加者>田丸喜昭、吉田隆行、相良直己、間野吉幸、中野久夫、小澤淳宏、清水直樹、清水優樹、清水浩樹、松本勝英、松本葉子、大久保陸夫、鈴木静治、桑森亮、小玉文夫、丸嶋紀夫、村松寿夫、松田幸保、小林秀美、(幹事)北原建郎、船津登 計21名

小見川・神之池・江戸崎探鳥会

1月5日

直近でオオヒシクイの群れ!

北崎正典

我孫子野鳥を守る会に入会して半年、今回初めて日帰り探鳥会に参加させて頂きました。

年末からの天気予報では1月5日は雨とのことで一時は開催がどうなるか心配でしたが、当日は快晴とはいかないまでも、時折太陽が顔を出す好天に恵まれました。

我孫子駅北口から7台の車両に分乗して出発、最初の探鳥地、小見川大橋に向かう途中、「しもふさ直売所」に立ち寄り。「チキンカツサンド」や「おこわいなり」など、美味しそうなお弁当が良心的な値段で並んでおり、昼食をコンビニで買ってきてしまったことを後悔。来年参加できたらここで昼食を調達しようと心に決める。

しもふさ直売所を出て小見川大橋へ。小見川大橋手前の田圃にタゲリが2羽いるのを発見。初めて生タゲリを見ることができて感動。他の方の話では十数羽いたとのこと。

小見川大橋では、ノスリ、ミサゴ、チュウヒ、トビの4種の猛禽類に出会えました。特にミサゴは木の枝に止まって魚を食べる食事風景を提供してくれました。

その他、水面にはオオバン、カイツブリ、ハジロカイツブリを見ることができました。

小見川大橋を出発し、途中セブンイレブンに立ち寄り。この駐車場からはかなり遠目ではあったが、一列になって飛ぶカワウの群れや、20羽ほどのタゲリの飛翔が見られました。タゲリの飛翔の美しさにいつまでも双眼鏡を合わせ続けました。

次の探鳥地、神之池ではまず池南岸の西側周辺で観察を行いました。ここでは、おびただしい数のオナガガモの群れの中にヒドリガモが見られたほか、対岸付近にはキンクロハジロと少数のホシハジロを見ることができました。ヨシガモを見た方もいたとか。

また、鉄塔周辺でカワウの群舞が見られたのが圧巻でした。

その後、車で南岸西側から東側に移動、ここでは、ミコアイサの群れ(雌多数)、ヒドリガモ、カンムリカイツブリのほか、顔の緑色が綺麗なトモエガモも見ることができました。

神之池の観察を終え、浮島まで移動して昼食。駐車場のガードレールにモズが止まっているのが見られました。オオジュリンやシロハラの声聞いた方もいたそうです。

昼食後、本新牛舎周辺の蓮田を探鳥しました。松田さんによると、下見の時と比べるとかなりの蓮田で水が干上がってしまっているとのことでした。それでもまだ水の残る蓮田でタカブシギ、ヒバリシギに出会うことができましたほか、タゲリ、ツグミ、アオサギ、ハ

クセキレイ、ヒヨドリ等に出会え、また、ムクドリの群舞を見ることができました。

そして最後の探鳥地、稲敷市稲波の小野川堤防周辺では、「二度とない近さ」と言われるほどの直近でオオヒシクイの群れを見ることができました。到着時は皆で顔をうずめて休んでいたオオヒシクイが、我々に気づいたのか、警戒しながらゆっくりと隣の田圃に移動していく様子が観察できました。係の方の話では、今年は91羽来ているとのことでした。このほか、チョウゲンボウ、タシギ、イソシギが見られたほか、小野川ではオオバン、カンムリカイツブリ、杭の上にはカワセミまで姿を見せてくれました。

最後は、水と緑のふれあい公園で鳥合わせ。公園の池ではハシビロガモを見ることができ、今回の探鳥会で確認できた鳥は55種にも及びました。私にとっては初めて出会えた鳥も多く、非常に有意義で実り多き探鳥会となりました。

【幹事報告】

オオヒシクイは近かった

心配させた雨予報もなくなり、国道6号からは日光白根・男体山までも見えた。毎年立ち寄っていたふじみ橋そばのコンビニには寄らず、下見時に発見した「しもふさ直売所」を最初の休憩場所とした。駐車場に一度に7台の車が入ったので、開店時間前に売店を開けてくれた。ここで昼食を購入した人もいたようだ。

小見川の利根川堤防ではチュウヒ、ミサゴがよく飛びかってくれ、タゲリの群れも現れたので、満足して次の目的地に向かえた。神之池では、タイミングよく目の前をミコアイサの群れが通ってくれた。そして、久しぶりにトモエガモにも会うことができた。

浮島での昼食後は、シギ・チドリを期待して本新に行った。1週間前の下見時には水のあった蓮田が干上がっていて、シギ・チドリの成果はないかと思われたが、別の蓮田にヒバリシギを発見できたのは幸いだった。

昨年の探鳥会の時には、江戸崎のオオヒシクイは留守だったが、今回は昨年の埋め合わせでもするかのような近さで観察できた。

最後の休憩地「水と緑のふれあい公園」で、いつものハシビロガモを確認したのち、鳥合わせをして解散した。

<認めた鳥>カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、オオヒシクイ、コブハクチョウ、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、オオバン、タゲリ、ヒバリシギ、ハマシギ、タカブシギ、イソシギ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計55種

番外 カワラバト、シナガチョウ

<参加者>鈴木裕爾、鈴木幸子、小川克子、北原建郎、小玉文夫、中根忠、中根洋子、間野吉幸、石渡成紀、相良直己、北崎正典、松本勝英、松本葉子、大久保陸夫、渡邊浩次、金子雅幸、浅野利幸、小澤淳宏、田中功、中西榮子、百瀬喬、村松寿夫、小林博之、小林美智子(幹事)桑森亮、松田幸保 計26名

佐久・軽井沢探鳥会

1月18日、19日

私の好きな軽井沢

山本貞江

NHKのカルチャーセンターに一年待って入会してから、かれこれ二十年がたちました。軽井沢は私の好きな探鳥地です。ミソサザイをあきずに観察したり、コルリに初めて会ったその嬉しさに、感動し、そこに座り込んで何十分も眺めていたり、また色のついた美しい鳥たちと初めて会ったのも御当地でした。そして今回は初めての厳寒の軽井沢に入りました。天気は二日間にわたり太陽が昇り、晴天というラッキーに恵まれました。初めの一日は佐久の東電調整池でした。常連のカモ類の中にはミコアイサ、カワアイサ等、ベニマシコを見た幸運の会員が一名居りました。二日目、目がさめると暖かそうな太陽が照り、寒そうな新雪が覆い、美しい、美しい景色でした。朝食をすませさっそく探鳥に

でかけました。宿の裏手までの間になんと、なんと、何年振りかの、カケスに会いました、うれし・・・い。カケスは好きな鳥の一種です。カラスのお姫様です。とても美しかったです。野口さんがバッチリ写されました。カラ類の数も多く幸先良い出発となりました。旅館でのんびり暖かい屋内からミソサザイやカラ類を観察したグループもありました。その他の人は定番のどんぐり池を横目に見て野鳥の森の雪道を登ります。弘實さんと私、山本は途中よりピッキオの観察会に参加することにしました。これは一度参加したいと思っていたので二人だけでしたが参加しました。私は二、三回滑って、ころがり、弘實さんに助けられてピッキオの観察会の集合に間に合いました。子供も三人程おりました。動物の足跡やイカルが四、五羽で食事をしていたり、私には楽しく、遊んでいるように見えました。その後ヘビの記憶力のあること等の話を聞き、昨年アカショウビンの雛が一夜のうちに飲み込まれたことを思い出し、自然の中で生きる小鳥や小動物の苦勞に胸がつまりました。そして、さあ！！大変、野鳥の森で初めて出会う鳥に会ったのです、ヤマドリの雌でした。人を見ても逃げないそうです。人が近づくよりも、カラス、タカが空に現れる方がこわいのでしょうか。動かないとのことでした。また、おもしろいことに雄の方はサッと隠れるそうです。鳥が少なくなって残念です。でもやっぱり軽井沢は大好きです。

【幹事報告】

1/18(土)8 時ふれあい広場で参加者 22 名が 29 人乗りの中型バスに乗り込み、三芳、甘楽で休憩を、11 時には佐久のおぎのやで昼食をとり、12:30～14:20 晴天に雪を頂き、薄い煙を上げる浅間山を望む東電第一調整池で探鳥。カモ類、サギ類の種数は従来とあまり変わらないが、数が少ないようでした。特に珍しいカモは見られず、何時も数十羽見られたカワアイサが 1 羽と少なかった。しかし、ベニマシコ、チドリの群れが千曲川の河原、トビの大群が滑津川岸で観察できました。15 時には塩壺温泉ホテルに到着。その後、近くの湯川でカワガラスが観察出来ました。夕食後懇親会をし、22 時には就寝。

1/19(日)7:30 朝食前、ホテルの明神池ラウンジで餌台に来る小鳥を観察する。カラ類、ミ

ソサザイ、シメ、キセキレイ、ニホンリス等が現れる。8:30 から湯川岸でカケス、アトリ、ゴジュウカラ等を観察し、雪の積もる野鳥の森でイカルを、鶴留の研究用餌台(東邦大学理学部設置)近くでゴジュウカラ、コガラ、アカゲラ、アオゲラ等を観察しました。キビタキ休憩所から下山途中、巣箱より顔を出すムササビを観察できました。11:30 には探鳥を完了し、村民食堂で昼食後 12:30 帰途につき横川、上里、三芳で休憩をとり、我孫子へ 16 時に予定より早く無事到着。往復共に渋滞に会うこともなく探鳥会、温泉を楽しむことが出来ました。

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、トビ、ノスリ、ヤマドリ、キジ、オオバン、シロチドリ、キジバト、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、ジョウビタキ、ツグミ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 54 種 番外：カワラバト 小動物：ニホンリス、ムササビ

< 参加者 > 山本貞江、小澤淳宏、中野久夫、大久保陸夫、桑森亮、船津登、野口隆也、野口洋子、鈴木裕爾、鈴木幸子、弘實さと子、金子幸子、川越久枝、松下勝子、中根忠、池田日出夫、古賀嗣朗、小山雄司、小林寿美子、(幹事)古出洋子、類地祐子、鈴木静治 計 22 名

井頭公園探鳥会

2月1日

トラツグミに大喜び!

丸嶋紀夫

入会 2 年目の私にとって井頭公園は初めてだったので、参加申し込みをした。当日バスは 28 名満席で、8 時に我孫子を出発した。幹事の方から「井頭公園が初めての人はいますか」という質問につき挙手したところ、感

想文担当にさせられた。ついていない。これで3回目の感想文書きだ。

途中、道の駅「しもづま」で休憩し、更に到着間際のコンビニエンスストアで食料調達して、10時30分に井頭公園に順調に到着した。

この日は晴れて冬にしては暖かく風もなく探鳥会日和であった。公園内入ってすぐの鳥見亭2階の野鳥観察室で指導員の方からレクチャーを受けた。お目当てのミコアイサは最近入っていないとのことであまりがっかりした。探鳥は14名ずつの2班に分かれて、池の周りを時計回りと反時計回りに公園内を歩くことになった。私は染谷幹事率いる反時計回りのグループになった。歩き始めて、池にはオナガガモやヒドリガモはいるものの、やはりミコアイサは見当たらない。東側の斜面林に入るとすぐ、シロハラ、シメ、ビンズイが枯葉の積る地面を歩き回り、餌を探していた。その後、林を進んで行くと、シジュウカラ、コゲラ、エナガの混群と時たま会うものの、総じて鳥は少なかった。湿地植物園では、カワセミ、ジョウビタキ、アオジなどが現れた。更に進むと、散策路近くの林の中に猛禽の死骸があった。オオタカの若だろうということであった。無残な姿に自然の厳しさを感じる思いであった。湿地植物園の木道でカワセミを見ているとき、道を挟んだ林側でミヤマホオジロを何人が見た。写真を撮れたのは一人だけだった。私はあわてて駆けつけたが、寸前で見る事ができなかった。残念。ここで昼食をとることとなり、食事場所を確保していると、近くにトラツグミが枯葉の堆積する地面をカサコソとゆっくり歩いていた。体表の大部分が鱗状の斑のある美しい鳥だ。ちょっと目を離すと背景にまぎれて見分けがつかなくなる。こんなに明るいところへ出てくるのは珍しい。夢中でシャッターを切る。撮影が一段落して昼食をとっていると、もう一方の班の人たちと合流した。皆さん写真を夢中で撮る。その頃には、シロハラとトラツグミが一緒に出ていたので、私もまた撮影に参加した。撮り放題が終了して、私たちは別班と分かれて、歩を進めた。後から聞いた話では、別班はその後その近くでミヤマホオジロも撮り放題だったとのことであった。

その後、釣池に到着し、いつもならこの付近でベニマシコが出るということであったが、それも空振りであった。池の西側ではマガモやダイサギの群れは見られた。

スタートした2階の野鳥観察室で14時に鳥合わせ。全部で40種類であったが、例年と比較して少ないとのことであった。今シーズンの冬鳥の渡来の少なさを物語っているように思えた。

帰りのバスでは皆さんプチ宴会で盛り上がり。道の駅「にのみや」で栃木名産のイチゴを購入。17時に我孫子に無事到着。

幹事の皆さんありがとうございました。

【幹事報告】

快晴、無風、暖かくまるで春のような絶好の探鳥日和でした。こんな日はめったに無いので出る鳥に期待が弾みました。しかし、池には水鳥の数が少なく、観察センター鳥見亭のレンジャーの話では数年前から年々飛来する水鳥の数が減っているとのこと。少し心配である。手賀沼もそうだが、飛来する水鳥の数の減少が広域にわたっているのだろうか。それでも比較的数の少ないトラツグミやミヤマホオジロを参加者全員が見られたことはよかったと思う。41種も出てくれて、鳥果はまずまずといったところで、参加者は楽しんでくれたようでした。又幹事の小林寿美さんが風邪のため参加できなかったが、金子幸子さん、川越久枝さんにお手伝いをいただき感謝いたします。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、トビ、オオタカ?、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計41種 番外 ガチョウ

<参加者> 野口隆也、間野吉幸、桑森亮、松本勝英、松本葉子、中野久夫、金子幸子、川越久枝、小林博之、木村稔、小澤淳宏、大久保陸夫、船津登、松田幸保、村松寿夫、田中恒雄、佐々木隆、類地佑子、相良直己、松下

勝子、青木典子、井川克子、丸嶋紀夫、渡辺俊文、小林美智子、金子雅幸、小玉文夫
(幹事) 染谷迪夫 28名

芋煮会

キャンプファイヤーに笑顔が弾む！！

12月15日やや風はあったが快晴の下、連続31回目となる芋煮会が開催され、多くの会員が美味しい料理やお酒と談笑とで楽しい一時を過ごした。

28名が東我孫子駅前に集い、谷津田を探鳥しながら会場に向かった。今年は残念乍ら冬鳥の飛来が少なく、ベニマシコやウソ、ジョウビタキと言った代表的な冬鳥が見られなかったなど、全員が確認出来た鳥は多くはなかったが、それでもシメ、カシラダカ、アオジなど沢山の目で認められた鳥は25種にのぼった。

前年を大幅に上回る65名の会員が集い、間野会長の挨拶でスタートした。今年は参加者が多かった為、下準備などに苦労されたであろう各奉行の皆さんの努力で、飛びきり美味しい芋煮、焼鳥、焼肉、焼きそばなどが用意され、一様に「うまい」「美味しい」の声と共に会場が一気に盛り上がり行った。お酒や漬物などを提供して頂いた方も多く、好みのお酒、料理を片手に会場のあちこちで談笑の輪が広がっていった。近年課題であった焼き芋も、今年は奉行さんの工夫により上手に焼け、皆さん十分にお腹も満足されたようであった。最後は残ったお酒、ジュースなどを競売に掛け、「300円」「500円」などの掛け声と笑い声で大いに盛り上がり、「やはり最後はこれがないとね…」との会話の中、集合写真を撮った後キャンプファイヤーの火を消した。

<参加者> 鈴木裕爾、鈴木幸子、浅野利幸、小山雄司、小山和子、小玉信子、金子智恵子、岩田孝之、川越久枝、大久保陸夫、池田日出男、中根忠、小林秀美、野口紀恵、渡辺俊文、渡辺千津代、橋本了次、千葉洋、千葉史子、橋本清、常盤孝義、蒲田久義、塩田恵、塩田凜、柴本法子、藤川敏彦、百瀬喬、北崎正典、小澤淳宏、小林博之、小林美智子、小坂忠久、古出夏妃、弘實さと子、古賀嗣朗、古賀道子、

湯浅葵衣、湯浅天翔、杉森文夫、猪爪敏夫、間野吉幸、首藤佑吉、田中功、田中恒雄、船津登、松田幸保、佐々木隆、北原建郎、金子幸子、小林寿美子、古出洋子、松下勝子、桑森亮、松本勝英、松本葉子、六角昭男、野口紀子、蒲田知子、鈴木静治、野口隆也、小玉文夫、木村稔、染谷迪夫、相良直己、金子雅幸 計65名

<認めた鳥> カワウ、コサギ、アオサギ、オオタカ、ミサゴ、キジ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計25種

市民手賀沼探鳥会

1月26日(日) 水の館から手賀沼遊歩道を通って滝下広場までを往復するコースで恒例ともなっている探鳥会で、当会と我孫子市環境レンジャーとの共催です。

一般市民を対象とした探鳥会で、探鳥の楽しさや野鳥への理解を深める事を目的として開催しています。

実施当日は暖かく風もなく春を思わせるような日和でした。しかし参加者が少なくその点が少し残念でした。その為、班分けはせず参加者に対してマンツーマンで案内しました。案内者側もゆったりと探鳥を楽しんだ様子でした。最近手賀沼で良く見られるカンムリカイツブリ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、比較的少ないタシギ、美しいカワセミなど認めました。珍しいアリスイにも出会いました。

探鳥前にビンゴ用紙を配り、確認される鳥を予想し、最後の鳥合わせの時、ビンゴの結果を発表し、賞品に野鳥カードをさしあげました。皆さん喜んでいました。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミコアイサ、トビ、バン、オオバン、タシギ、セグロカモメ、カワセミ、アリスイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグ

イス、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 35 種
番外 カワラバト、アヒル、バリケン

<参加者>一般 8名、環境レンジャー(間野吉幸、松本勝英、染谷迪夫、野倉元雄、石橋正康、手賀沼課倉島職員)我孫子野鳥を守る会(野口隆也、桑森享) 計 16名

第四回「野鳥サロン」

第四回野鳥サロンが、1月25日、我孫子北近隣センターで、28名の会員の参加を得て、開催されました。

今回のテーマは「小鳥たちの食卓」です。

北原白秋の童謡「赤い鳥小鳥」の曲に乗って、相良担当幹事作成のスライド・ショー「小鳥たちの食卓」が始まりました。

当会会員撮影の写真を中心に文献からの引用を加え、赤い木の実に集う小鳥、青い木の実に集う小鳥、黒い木の実に集う小鳥、黄色の木の実に集う小鳥、白い木の実に集う小鳥と順次、鳥たちの食卓(木の実を啄ばむ写真)が鳥の鳴き声音声付で紹介されていきます。その後、子孫繁栄のために、巧みに鳥たちを呼び、種子の散布を企てる植物たちの知恵のあれこれが楽しく紹介されました。

次いで、当会の鳥の食性(植物)名人の担当幹事鈴木さんの登場です。

過去のJBFの当会ブース「庭に鳥を呼ぶ」の資料をベースに実物の植物の回覧も含め、庭に良く来る鳥たちの紹介と時期、食性などの紹介がありました。

庭に呼ぶことができる鳥26種とその餌となる種子と鳥を呼ぶための工夫のお話があり、135種の草木の実がその特徴、毒性なども含め詳細に紹介されました。

また、木・草の名前を調べる際の参考書籍の紹介もありました。

鈴木さんの解説をベースに参加の会員間の活発な議論も行われました。

大変盛りだくさんの内容にあっという間の2時間でした。

会場で、別の団体の催しもあり、駐車場が混雑しました。会場で当会に割り当てられている駐車場が僅かであるため、次回以降は近隣

の駐車場を活用するようにしたく考えます。

<参加者>青木典子、池田日出男、小澤淳宏、金子幸子、金子雅幸、川越久枝、木村稔、桑森亮、古出洋子、小林博之、関口佐代子、染谷迪夫、田中功、田中恒雄、野口紀子、野口洋子、畠中暁美、弘實さと子、松下勝子、松田幸保、間野吉幸、類地佑子、六角昭男、吉田隆行

(担当幹事)小林寿美子、佐々木隆、相良直己、鈴木静治 計 28名 (相良記)

1月役員会報告

日時 1月12日(日) 13:30~16:30

場所 水の館 3階研修室

1. 平成25年度の反省と平成26年度に向けての計画を資料に基づき、検討しました。
 - ・探鳥会の実施については、定例探鳥コースのオプション工夫・宿泊探鳥会の早めの募集・市民対象探鳥会の企画及び広報の工夫等の検討をしました。
 - ・野鳥の調査及び保護については、カウント班の任期交代制等の検討をしました。
 - ・広報啓発活動については、ホームページ運営委員会の報告等の確認をしました。
 - ・創立50年に向けて「新入会員オリエンテーション・野鳥サロンの継続を確認しました。
2. 平成26年度に向けて事務局からの提案資料に基づき検討し、次の事項を確認しました。
 - ・鳥類目録変更に伴う見直し作業の実施
 - ・45周年に向けてデジタル野鳥図鑑の作成
 - ・メーリングリストの有効活用
 - ・対外啓発活動のステップアップ
 - ・過去の活動データ整理と今後の活用策
3. ほーほーどり 237号掲載予定記事資料に基づき、掲載予定記事を検討のうえ決定しました。
4. メーリングリスト、会員名簿

メーリングリストの変更については次回提案とし、ab-yacho に流す鳥情報については取り決めを明記、会員名簿の個人情報の取り扱いは十分注意等の確認をしました。

5. 第五回「野鳥サロン」
開催は3月30日(日)、北近隣センター並木本館(予定) テーマは「トケン類の托卵」「山階鳥類研究所と守る会との関わり」で了承されました。
6. 「野鳥サロンの運営ポイント」の修正仕事を持つ会員に配慮し、サロン開催

日「平日」を「原則として平日」に修正しました。

7. 報告事項

- ・ジャパンバードフェスティバル全体の実施報告を検討のうえ、確認。
- ・手賀沼ふれあい緑道に関する柏土木事務所からの回答を確認。
- ・千葉県福祉ふれあいプラザ施設利用者登録更新手続きの完了報告を了承。
- ・第3四半期会計報告を了承。

以上

鳥 だ よ り

- | | |
|--|--|
| 10.31 [片山(手賀の丘公園)] イカ(4+) 公園内小池の傍の樹枝上(オ、ヌ) 渡辺俊文 | 9:14、屋敷林の一角に鳴きながら飛来
飯泉仁 |
| 11.01 [片山(手賀の丘公園)] イカ(2+) 数羽いたがヒヨドリに追われ数秒で飛去 渡辺俊文 | 11.25 [北新田] ハブサ(1) 電柱上 中野久夫 |
| 11.21 [北新田] クサヅキ(5) 4号排水路で
中野久夫 | 11.26 [別所] オドリ(12) 調整池の岸近く
を泳ぐ 鈴木静治 |
| 11.21 [北新田] ノリ(2) 電柱上 中野久夫 | 11.28 [千間橋] ハブサ(1) 飛んで来て鉄塔
上部にとまる 鈴木静治 |
| 11.21 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上
中野久夫 | 11.28 [発作] ノリ(1) 鉄塔中程にとまり見
下ろす 鈴木静治 |
| 11.22 [下沼田] ノリ(1) 電柱にとまる
鈴木静治 | 11.28 [北新田] オオカ(1) 越流堤横柳上
中野久夫 |
| 11.22 [下沼田] ヒ(1) ノリの近くに飛来
し次の電柱にとまる 鈴木静治 | 11.28 [千間橋] ミマガラス約 400 耕した田
で群れて採食 鈴木静治 |
| 11.22 [中沼田] チョウゲンボウ(1) 田の上を飛
ぶ 鈴木静治 | 11.29 [下沼田] チョウゲンボウ(1) 電柱上にと
まり採食 鈴木静治 |
| 11.22 [千間橋] ヒ(1) 川上空を鳴きなが
ら飛ぶ 鈴木静治 | 11.29 [千間橋] ハブサ(1) カラスを追い回す
鈴木静治 |
| 11.22 [北新田] クサヅキ(6) 4号排水路で
中野久夫 | 11.29 [北新田] オオカ(1) 越流堤横柳上
中野久夫 |
| 11.22 [北新田] ノリ(2) 電柱上 中野久夫 | 11.30 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫 |
| 11.22 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電線上
中野久夫 | 11.30 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電線上
中野久夫 |
| 11.22 [上沼田] ミマガラス約 300 二番穂の
田で採食、ハクネットにとまる 鈴木静治 | 11.30 [片山(手賀の丘公園)] アオハト(1)
渡辺俊文 |
| 11.22 [上沼田] コマルガラス約10二番穂の田
で採食、ハクネットにとまる 鈴木静治 | 12.03 [北新田] クサヅキ(5) 4号排水路で
中野久夫 |
| 11.22 [北新田] ミマガラス(100) 耕田で
中野久夫 | 12.03 [北新田] ノリ(1) 電柱から飛去
中野久夫 |
| 11.23 [酒井根 6丁目下田の森] ヤマガラ(1) | 12.03 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電線上 |

- 中野久夫
- 12.05 [岡発戸新田] ヒ¹(1) 斜面林上空を飛ぶ 鈴木静治・間野吉幸・蒲田知子・船津登
- 12.05 [岡発戸新田] ハイ¹(1) 斜面林上空を飛ぶ 鈴木静治・間野吉幸・蒲田知子・船津登
- 12.08 [手賀沼] コ¹ヲ¹ヨ¹(4) 下沼4 染谷迪夫・木村稔・小玉文夫・田中功
- 12.08 [手賀沼] ミ¹コ¹(1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔・小玉文夫・田中功
- 12.08 [手賀沼辺] 材¹カ¹(1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔・小玉文夫・田中功
- 12.08 [手賀沼辺] ハ¹ブ¹サ¹(1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔・小玉文夫・田中功
- 12.09 [別所] オ¹ト¹リ¹約 10 池の端の茂みより泳ぎだす 鈴木静治
- 12.09 [北新田] ノ¹ス¹(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.09 [北新田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(2) 電線上 中野久夫
- 12.11 [北新田] ノ¹ス¹(1) 杭上 中野久夫
- 12.11 [北新田] ハ¹ブ¹サ¹(1) 電柱上 中野久夫
- 12.14 [江蔵地] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 電柱より飛ぶ 鈴木静治
- 12.14 [江蔵地] ハ¹ニ¹マ¹シ¹コ¹(2) 鳴きながら木の上、木の藪にとまる 鈴木静治
- 12.14 [江蔵地] ノ¹ス¹(1) 木の茂みより飛び出す 鈴木静治
- 12.14 [上沼田] ト¹ビ¹(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.14 [発作] ノ¹ス¹(1) 鉄塔中程にとまる 鈴木静治
- 12.14 [発作] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 田の電柱にとまり獲物を食べる 鈴木静治
- 12.14 [岡発戸] ハ¹ニ¹マ¹シ¹コ¹(2) 岡発戸谷津 船津登
- 12.14 [上沼田] ミ¹マ¹ガ¹ラ¹約 200 田に群がり採食 鈴木静治
- 12.14 [中沼田] ミ¹マ¹ガ¹ラ¹約 200 群れで飛ぶ 鈴木静治
- 12.15 [光ヶ丘広池学園] 材¹カ¹(1) 10:03、東方向から出現し、北方向に滑翔し通過 飯泉仁
- 12.15 [片山(手賀の丘公園)] ヤ¹マ¹ガ¹ラ¹(1) 13:01 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.15 [片山(手賀の丘公園)] ヤ¹マ¹ガ¹ラ¹(2) 13:55 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.15 [大作新田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.15 [岡発戸] ト¹ビ¹(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.15 [上沼田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.15 [北新田] ノ¹ス¹(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 12.15 [北新田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(2) 電線上 中野久夫
- 12.15 [北新田] ハ¹ブ¹サ¹(1) 電柱上 中野久夫
- 12.16 [千間橋] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.17 [北新田] イ¹カ¹ト¹リ¹(1) 青山水門で 中野久夫
- 12.17 [北新田] ク¹サ¹ヅ¹(2) 4 号排水路で 中野久夫
- 12.17 [北新田] ノ¹ス¹(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.17 [北新田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 電線上 中野久夫
- 12.20 [高野山] ミ¹マ¹ガ¹ラ¹約 100 今冬も、国道 356 の我孫子自動車教習所前の電線に集結。夕方 4 時半ごろに、手賀沼方向から飛んできて電線に並ぶ 松田幸保
- 12.21 [北新田] ク¹サ¹ヅ¹(1) 4 号排水路で 中野久夫
- 12.21 [北新田] ノ¹ス¹(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.21 [北新田] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 電線上 中野久夫
- 12.22 [酒井根 5 丁目] チ¹ョウ¹ケ¹ン¹ホ¹ウ¹(1) 10:35、上空を旋回後、高圧線に止まる 飯泉仁
- 12.23 [酒井根 6 丁目 下田の森] 材¹カ¹(1) 9:21、南側の林から出現し、北方向に渡去 飯泉仁
- 12.24 [北新田] ノ¹ス¹(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.26 [北新田] 材¹カ¹(1) 2 号排水路岸柳上 中野久夫
- 12.31 [北新田] ク¹サ¹ヅ¹(3) 4 号排水路で 中野久夫
- 12.31 [北新田] ト¹ビ¹(1) 帆翔 中野久夫
- 12.31 [北新田] ノ¹ス¹(1) 電柱から飛去

- 中野久夫
- 12.31 [湖北台 2 丁目] コマルガラス(1) 電線
上に止まる 大久保陸夫
- 1.01 [片山(手賀の丘公園)] ミカ(1) 11:19、
水面の看板に止まり、魚を食していた 飯泉仁
- 1.01 [手賀の丘公園] ヤマガラ(2) 12:06、東
屋前の池に飛来 飯泉仁
- 1.01 [浅間前] ノスリ(1) 電柱にとまる
鈴木静治
- 1.01 [下沼田] チョウゲンボウ(1) 飛んで来て
鉄塔中腹にとまる 鈴木静治
- 1.01 [中沼田] チョウゲンボウ(1) 田の上を飛
ぶ 鈴木静治
- 1.01 [上沼田] ヒ(2) 田の畔で獲物を食
べる 鈴木静治
- 1.01 [上沼田] チョウゲンボウ(1) 道路脇の電
線にとまる 鈴木静治
- 1.01 [中沼田] ノスリ(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 1.02 [江蔵地] ノスリ(1) 上空高く旋回する
鈴木静治
- 1.02 [江蔵地] ベニマシコ(4) 柳の茂みを移動
する 鈴木静治
- 1.02 [江蔵地] ノスリ(1) 電柱より飛び立つ
鈴木静治
- 1.03 [上沼田] 林アカ(2) 川岸の葦にとまる
鈴木静治
- 1.03 [中沼田] チョウゲンボウ(1) 飛んで来て
田の杭にとまる 鈴木静治
- 1.03 [下沼田] ノスリ(1) 道脇の電柱にとま
る 鈴木静治
- 1.03 [北新田] チョウゲンボウ(2) 電柱上
中野久夫
- 1.03 [上沼田] ミマガラス約 20 電線にとまる
鈴木静治
- 1.03 [上沼田] ミマガラス約 100 二番穂の田
で採食 鈴木静治
- 1.04 [片山(手賀の丘公園)] ノスリ(2) 船津登
- 1.04 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(8) 船津登
- 1.06 [片山新田] チョウゲンボウ(1) 堤防の標
識上にとまる 鈴木静治
- 1.06 [片山新田] ノスリ(1) 電柱上にとまる
鈴木静治
- 1.06 [泉] ノスリ(1) ハシボソガラスに絡まれる
鈴木静治
- 1.09 [岡発戸新田] ノスリ(1) 田の畔で採食

- 鈴木静治・間野吉幸・蒲田知子
- 1.09 [北新田] ミマガラス(200) 南東より飛
来し電線にとまる 中野久夫
- 1.12 [手賀沼] コクチョウ(4) 下沼 4
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.12 [手賀沼] ミカ(2) 上沼 1, 下沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.12 [手賀沼辺] ハブサ(1) 上沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.17 [手賀沼 下沼] ミカ(1) 杭の上で魚
を掴んでいたがカラスに追われ飛び去っ
た 間野吉幸
- 1.17 [手賀沼 上沼] ミカ(1) 上空をホバ
リング 間野吉幸
- 1.17 [寿] ヒ(1) 上空を旋回 間野吉幸
- 1.17 [手賀沼下沼] ウミウ(1) 杭の上で休息
間野吉幸

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アオバト、アカハラ、イ
カルチドリ、イスカ、イソシギ、ウグイス、
ウミウ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、
オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、
オナガガモ、カイツブリ、カケス、カシラダ
カ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒ
ワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジバト、
キセキレイ、キンクロハジロ、クサシギ、ゴ
イサギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、
コサギ、コハクチョウ、コブハクチョウ、シ
ジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、
スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セ
ッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、
チョウゲンボウ、ツグミ、トビ、トラツグミ、
ノスリ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシビロ
ガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハ
ジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒドリガ
モ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、フクロウ、
ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジ
ロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ミヤマガ
ラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、
ユリカモメ、ルリビタキ 計 81 種
<番外種>
カワラバト、コジュケイ、バリケン

< 今回の投稿者の総投稿件数 >		田中功	1
飯泉仁	578	中野久夫	52
飯泉仁・飯泉久美子	117	船津登	38
飯泉久美子	1	松田幸保	1
大久保陸夫	1	間野吉幸	32
鈴木静治	174	渡辺俊文	3
鈴木静治・間野吉幸・蒲田知子	20	総計	1106
鈴木静治・間野吉幸・蒲田知子 ・船津登	19		(浅井久)
染谷迪夫・木村稔・小玉文夫・田中功	36		
染谷迪夫・木村稔・田中功	33		

会 員 便 り (ab - yacho より)

【ミヤマガラスの群れが国道 356 に】

今冬も、国道 356 の我孫子自動車教習所前の電線にミヤマガラスが集結します。夕方 4 時半ごろに、手賀沼方向から飛んできて電線に並びます。次第に増えて 100 羽ぐらいになりますが、何かのきっかけで飛んで行ってしまいます。コクマルガラスは確認できませんでした。(松田幸保 2013.12.25)

【コクマルガラスが現れました】

今年もコクマルガラス(白色型)が一羽だけですが我が家の近くにあらわれました。今朝、定例の散歩の帰り、コクマルガラスの鳴き声があるので、注意深く追っていったらだんだん我が家の方向から聞こえ、結局は湖北台の電線に留まっていました。カメラを求めて我が家にとんで帰り、彼の居場所に戻ったら待っていてくれました。11 月頃からコクマルガラスの黒色型は確認できましたが、白色型がなかなか確認できず、半ばあきらめておりました。今年も、ヨタカをはじめ、ハイイロチュウヒ(雄)、コミミズクなど鳥運に恵まれ良い一年を過ごすことができました。また、最後の最後の大晦日にきて念願がかない、よい年越しができそうです。来年も良い年でありますようにお願いする次第です。それでは、あらためて皆さん、「よいお正月をお迎えください。」(大久保陸夫 2013.12.31)

【ミサゴの食事風景】

よそでミサゴを待っていたところ、魚を捕まえて現れました。棒に止まると思っていたら、草の陰に見えなくなりました。探してみると、草も生えていない地面で魚を押さえつけていました。以前、畑に下りたミサゴを見ましたが、トビやカラスが寄ってきたために飛び去ってしまいました。今回は人間(私)を警戒して飛び去りました。ミサゴも様々ですね!(松田幸保 2014.01.02)

地面に下りるミサゴに期待して、また行ってみました。残念ながら、今日は小さい魚を持って鉄パイプに止まりました。しかし、別のミサゴに邪魔されて飛んで行ってしまいました。この鉄パイプは直径が 5 センチしかないの、大きい魚を食べるのには向いていないと思われます。それで一昨日は地面に下りていたのでしょう。(松田幸保 2014.01.04)

昨日の我孫子野鳥を守る会の探鳥会で、落葉した木の枝で魚を食べるミサゴを見ました。手賀沼・霞ヶ浦で杭や棒、組んだパイプの上で食べている姿ばかり見ていたので、新鮮に感じました。

上記以外の環境でミサゴが魚を食べている情景を目撃したことがある方は、地名も含めて教えてください。
(松田幸保 2014.01.07)

【手賀の丘公園鳥情報】

今日、今年、初めて手賀の丘公園へ探鳥に行きました。

そこで、トラツグミ 1羽を見ました。

その他確認された鳥は、ノスリ 2、キジバト 1、カワセミ 1、コゲラ 2、キセキレイ 1、ピンズイ 3、ヒヨドリ 約 15、モズ 1、ルリピタキ雌 1、シロハラ 2、ウグイス 3(水浴びをしていた)、エナガ 約 20、ヤマガラ 8、シジュウカラ 約 20、メジロ 10、アオジ 3、ハシボソガラス 2、ハシブトガラス 2です。
(船津登 2014.01.04)

会からのお知らせ

<新入会員紹介>

清水直樹、美樹、優希、浩樹ご一家(川越市在住)

<年会費納入のお願い>

平成 26 年度の会費納入の時期が来ました。郵便局の振込用紙を同封しましたので、3 月末までに払い込みをお願いします。なお、例会、総会などで直接お支払頂く場合、また、既にお支払い頂いている方は、お手数でも振込用紙を破棄してください。年会費 2,000 円(大学・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料)

<鳥名リスト順変更について>

新年度から<認めた鳥>のリスト順は、日本鳥類目録第 7 版に準拠し変更いたします。

ほーほーどり No. 237 (2014 年 3~4 月号)

発行 2014 年 3 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1154 我孫子市白山 3 - 8 - 16 - 104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏 1001 - 5 野口隆也 Tel 04 - 7163 - 7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)